



THE ROTARY CLUB OF NAGANO WEST

長野西ロータリークラブ

例会 毎週金曜日 12:30～13:30 ホテル国際 21
事務局 〒380-0838 長野市県町 576 ホテル国際 21 内
☎026(235)2800 FAX026(235)0016
e-mail:nwrc1987y@sweet.ocn.ne.jp



会長／川橋昭義 幹事／青木 宏 クラブ会報委員長／佐藤吉朗
SAA／伊東義次 副 SAA／坂本千尋

第1584回例会 2021年（令和3年）3月12日（金）

ロータリーは機会の扉を開く ROTARY OPENS OPPORTUNITIES

直前会長挨拶

村田弘志直前会長



東日本大震災から10年の歳月が流れました。今日はある被災者から伺った話をさせていただきます。住んでいたのは福島県いわき市の隣の北茨城市です。

国道6号線沿いの海岸線からわずか20～30mの所に住宅があり、海岸との間には高さ約5mの防潮堤がありました。地震が起きた時、入院中のお爺さんの見舞のため高台の病院にいたそうです。大地震で大混乱の中、家のことが心配になって海岸の家まで車で戻ったそうです。街中は、ただただサイレンが鳴り響いていたそうです。家に戻って海岸を見ると普段とは違って砂浜が遥か沖合まで退いていたそうです。隣の人から「津波が来る」と言われ、慌てて貴重品を持ち出し病院へ戻ったそうです。家を離れて安全な所まで来た頃に津波が押し寄せました。防潮堤を乗り越えた津波と、近くの川を遡上した津波に、自宅は破壊されてしまったそうです。避難生活を経て今は山の中腹に自宅を再建し、遠く海を眺めながら暮らしています。海の近くには二度と住みたくないと話していました。今心配なのは原発の放射性物質による被曝だそうです。水素爆発の後、避難地が原発の風下になったので被曝したかもしれないそうです。ただ、当時子供達が地元になかっただけでも良かったと話していました。今日は長野県北部地震から10年です。長野でも地震・台風と災害は続いています、いざという時の備えはいつもしておきましょう。

幹事報告

青木 宏幹事



・創立記念例会と観桜会のご案内を先週FAXさせて頂きました。3月26日までに出席を事務局までご連絡お願い致します。皆様のご参加をお待ちしております。

・明日の13日(土)次期地区チーム研修セミナーがオンラインにより、開催されます。対象者の方は、よろしくお願いします。

例会案内

- 4月2日 休会
- 4月9日 創立記念例会&観桜会
於：ます栄 18:30～
- 4月16日 ゲスト卓話 若麻績 敏隆さん
- 4月23日 会員卓話 池田 潤さん

3/26 本日のプログラム

会員卓話 宮原友昭さん
原田理絵さん(同行者)
「ハーブティーについて」



村田直前会長より最後の奨学金と卒業祝いを授与されました

ゲスト チャンレホアイナム米山奨学生



・青木 宏さん☆チャンレホアイナム君、ご卒業おめでとうございます。社会人になっても頑張ってください。今日は、卓話よろしくお願いします。

・中島 勉さん☆発熱があり、一時はコロナかと思いました2週間たち回復しました。コロナではありません。よろしくお願いします。

- ・佐藤吉朗さん☆ナムさん、一年間ありがとう！
- ・柄澤重登さん☆所得税確定申告はもう終盤です。申告お済ですか。
- ・野村泰久さん☆先週ドタキャンしました。その罰金です。

・合計 14,000円 ・累計 381,281円

佐藤吉朗米山奨学生カウンセラーより



ナムさん、卒業おめでとうございます。今日で、最後の例会出席だと思うと寂しいです。この10か月間ナムさんと接してきて、本当に楽しい時間を過ごすことが出来ました。

ナムさんは、会うと必ず「佐藤さん、元気でしたか？」と挨拶をしてくれました。その言葉が普通の挨拶ではなく、会えない間の気持ちや心遣いが込めてあり、嬉しかったです。

ナムさんとは、上田西RC・富士見RCの訪問をしました。上田西RCでは、プロジェクターを使用できないハプニングがあり、急遽ホワイトボードを使って卓話をしたのですが、ナムさんが書き、私はその横で消すお手伝いをしました。ナムさんをサポートしたのが、唯一それくらいだったと思います。

私は、初めてカウンセラーとして奨学生と接し、「奨学生がこんなにも頑張っているんだ」と実感しました。これから今まで通りしっかり頑張れば、必ずいい未来が待っているかと思っています。応援しています。



ナムさんを囲んで
佐藤カウンセラー一年間お疲れ様でした。

ゲスト卓話 チャンレホアイナム米山奨学生



皆さん、こんにちはお久しぶりです。本日は、大学生活を振り返って得たもの学んだことについてお話したいと思います。

まず、2014年9月22日に日本に発ち、新しい生活が始まりました。新聞配達をしながら日本語学校に通い、受験勉強をしました。この時期は大変でしたが、結果、二つの国立大学と一つの国立高専に合格をしました。2017年4月10日、信州大学に入学し、大学生活がスタートしました。

1年 ボランティア活動に多く参加しました。篠ノ井小学校で、異文化理解と多文化共生の活動を進めました。また、松本市で開催されたこいこい松本のイベントでは、ベトナム人リーダーとして参加しました。たくさんの友人もでき、初めての期末試験を体験しました。



2年 ボランティア活動を継続して行いました。長野県に交流に来るホーチミン市訪問団をサポートし、通訳活動をしました。10月の学園祭（銀嶺祭）では、ベトナムの留学生が集まりベトナム料理フォーを作り販売しました。諏訪湖の花火、竜王スキーパークへも訪問し長野の自然の魅力を改めて実感しました。



3年 富士山の登山に挑戦し、夏には、クラスメイトと新潟の海にも出かけました。

4年 4年生になると研究室に入り、ネジについて研究をしました。昨年の4月より、米山奨学生に採用され、皆さんと交流が出来ました。上田西RC・富士見RCにも訪問しました。大学に入り新しい居酒屋でのバイトもしました。

今年の4月より㈱クボタへの就職が決まりました。私は、農業機械が好きで、実際ベトナムで農作業・稲作業をお手伝いしたことがあります。日本の農業機械は良いが高価で買えない状態です。ですから、良い製品を安価で作りたと思っています。

特にこの一年、コロナウイルスの影響で、バイト数も激減しました。しかし、奨学金のお陰で勉強に専念することができました。ロータリーの皆様に感謝しています。

今後、大阪に行っても、ベトナムへ帰ってもロータリーの精神を忘れず、頑張りたいと思います。日本とベトナムの懸け橋として活躍したいと思っています。